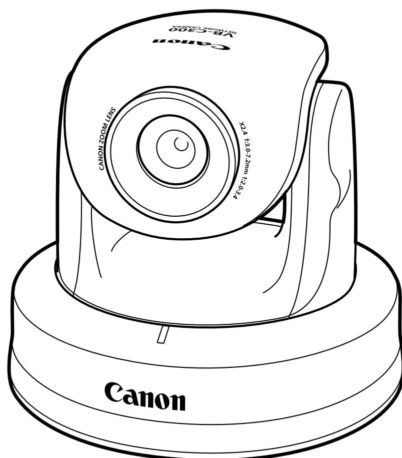
Canon

ネットワークカメラ

VB-C300

スタートガイド



ご使用の前に、必ずこのスタートガイドと操作ガイドをお読みください。
特に「⚠ 安全にお使いいただくために」の項は必ずお読みになり、正しくご使用ください。また、お読みになった後、本書はいつでも見られる場所に保管してください。

JPN

はじめに

このたびは「キヤノンネットワークカメラVB-C300/VB-C300B（以下、本機）」をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
VB-C300とVB-C300Bの違いは外観色のみです。
このスタートガイドは、本機の設定について説明しています。本機の活用方法はセットアップCD-ROM内の操作ガイドに詳しく説明しています。ご使用前によくお読みになって、本機を有効に活用してください。また、本書中の「安全にお使いいただくために」およびセットアップCD-ROMのReadMeファイルも必ずお読みください。
製品に関する最新情報（ファームウェアや同梱ソフトウェア、操作ガイド、動作環境など）は、ホームページをご確認ください。
製品紹介ホームページ： canon.jp/webview

著作権について

お客様が撮影した映像や画像、録音した音声などは、著作権法上、権利者に無断で使用・公開することはできませんのでご注意ください。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成しましたが、お気づきの点がございましたら、裏表紙に記載の窓口までご連絡ください。
4. 運用した結果の影響につきましては、2項、3項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。

ラジオやテレビなどへの電波障害についてのご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

映像･音声の公開に際してのお願い

カメラサイトにより映像･音声を公開する場合は、プライバシーの保護や肖像権の侵害防止などに十分なご配慮をお願いします。
カメラサイト運用者は、映像･音声の公開にかかる一切の責任を負うこととなります（弊社では責任を負いかねます）。

< 参考 >

- 個人が特定できないようにカメラを設置する。
- 特定の建築物や屋内などが映し出される場合には、管理者の方に対して、予め了承をいただいてからカメラを設置する。

法律上の注意事項

カメラによる監視は法律によって禁止されている場合があり、その内容は国によって異なります。本製品をご利用になる前に、ご利用頂く地域の法律を確認してください。

音声に関する注意事項

- 映像と音声は、ずれることがあります。
- ご使用のPCの性能やネットワーク環境によっては、音声が途切れることがあります。
- 最大15クライアントに対して、映像と音声を配信することができます。但し、配信するクライアントが多い場合には、音声が途切れることがあります。
- ウイルス対策ソフトをご使用の場合、音声が途切れることがあります。
- LANケーブルの抜き差しを行うと音声が切断されますのでNCビューワーから再接続してください。

商標について

- Canon はキヤノン株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。
- その他、本書に記載された商品名、社名などは各社の商標または登録商標です。

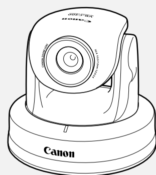
目　次

３章　付録

同梱品を確認しましょう

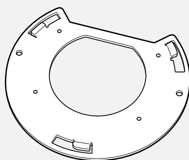
本製品には次のものが入っています。不足品がある場合は、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

1. 本体

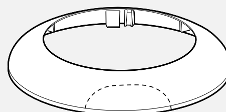


VB-C300 本体

2. 天井取付用金具



3. 天井取付用カバー

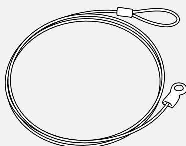


4. ネジ（4 本）

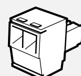
※本体と天井取付用金具の接合用



5. 落下防止用ワイヤー



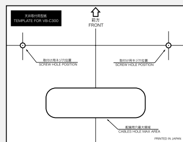
6. 電源用コネクター



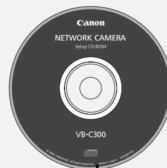
7. ゴム足（4 個）



8. 天井取付用型紙



9. セットアップ CD-ROM



10. スタートガイド（本書）

11. 保証書

セットアップ CD-ROM の内容

ReadMe-J.txt（本書以外の注意事項などの和文テキスト）
ReadMe-E.txt（本書以外の注意事項などの英文テキスト）
VBSetup.exe（初期設定ツール → P.2-7）*
MANUAL フォルダ（スタートガイド、操作ガイドの pdf ファイル和英）*
VBTools フォルダ（同梱ソフトウェアのインストーラー）*

* 同梱ソフトウェアや操作ガイドの最新情報は、
ホームページに公開されています。
製品紹介ホームページ： canon.jp/webview

取扱説明書について

本機には「スタートガイド」（本書）とセットアップCD-ROMに入っている「操作ガイド」があります。

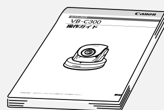
本機の設置・初期設定について知りたいとき



スタートガイド
(Manual_sg_J.pdf)
（本書）

本機をご使用になる際の安全上の注意、動作環境、装置構成とオプション、カメラの初期化、ソフトウェアのインストール、本機の設置、仕様について解説しています。
スタートガイドは同梱されています。

本機の詳しい使いかたについて知りたいとき



操作ガイド
(Manual_og_J.pdf)

本機の基本設定のしかた、およびVB管理ツール、NCビューワーの使いかた、トラブルシューティング、仕様、本機の詳しい使いかたについて解説しています。
同書を参照していただきたい部分は のマークと記載ページを記しています。
操作ガイドはセットアップCD-ROMに収められています。

本書の見かた

スタートガイドおよび操作ガイドの文章とイラストは、VB-C300を使って説明していますが、VB-C300Bの場合でも同じです。
スタートガイドおよび操作ガイドではWindows XPの画面を中心に使用していますが、特に記載のない場合は、Windows 2000も同様の画面です。

本書で使用しているマークについて

本書では特にお読みいただきたい説明に、次のマークを使用しています。

マーク	意味
警告	この表示を無視して取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
注意	この表示を無視して取扱いを誤った場合に、傷害または物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
火災注意 感電注意	これらの表示を無視して取扱いを誤った場合に、火災の発生や感電の可能性が想定される内容を示しています。
禁止 水場での使用禁止 火気禁止 分解禁止	これらの表示は火気を近づけることや水場での使用、分解すること、またその他の行為の禁止を示しています。
プラグをコンセントから抜く	この表示は必ず電源プラグをコンセントから抜かなければならないことを示しています。
お願い	操作上必ず守っていただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。機械の故障や損傷を防ぐために、必ずお読みください。
メモ	操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。
	同梱のセットアップCD-ROMの操作ガイドのPDFマニュアルを参照してください。

⚠ 安全にお使いいただくために

本機をお使いいただくにあたり、必ず守っていただかなければならない注意事項について説明します。

守られない場合、**ケガ**や**死亡事故**、**物的損害**が発生することがありますので、よくお読みになった上、必ずお守りください。

設置上の注意

⚠ 警告

火災注意　感電注意

水場での使用禁止

火気禁止　禁止

次の場所には設置しないでください。

火災、感電、ケガの原因になります。

- 高温のところ
- 火気の近く
- 湿気やほこりの多いところ
- 油煙や湯気が当たるところ
- 潮風の当たるところ
- 強い直射日光が当たるところや発熱体のそばなど、温度が高くなるところ
- 密閉された狭い場所
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや毛布など）の上
- 引火性溶剤（アルコールやシンナーなど）の近く

ALCOHOL

禁止

- **医療機器などの人命に関わるシステムには使用しないでください。**
  本システムはこれらのシステムに適していません。
- **強い電波や磁力の発生しているところでは使用しないでください。**

⚠ 警告

電源およびネットワークなどの配線工事は、電気設備技術基準などの関連法規に従い、安全・確実に行ってください。

⚠ 警告

設置は確実に行ってください。

- 天井への設置は、本体と取付用金具を含む重量に充分耐えられる強度があることをお確かめください。充分な強度がないと、落下して大けがの原因となります。また、1年に1度は、必ず取付け部がゆるんでいないか点検してください。
- 振動のある場所に取付けないでください。ネジがゆるみ、落下による機器の破損や大けがの原因となります。

⚠ 注意

禁止

- **不安定なところや傾斜したところには設置しないでください。**
  落下などによるけがの原因になることがあります。
- **本機をネットワークに接続する場合、シールド付LANケーブル（カテゴリー５以上）をご使用ください。**

持ち運ぶときの注意




火災注意　感電注意


禁止


プラグをコンセントから抜く

持ち運ぶときは、次の点に注意してください。

- 本機からLAN ケーブルを抜いてください。
- ACアダプター（オプション）や外部電源をご使用の場合は、電源用コネクターを抜いてください。
- 接続ケーブルなどを外してください。
  ケーブルが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
- カメラヘッド部を持たないでください。
  カメラヘッド部をパン方向、チルト方向に手で回すと、故障の原因になります。



使用上の注意

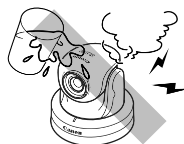



火災注意　感電注意

次の場合は、ただちに使用を中止し、本機からLANケーブルや外部電源、ACアダプター（オプション）の電源用コネクターを抜いて、最寄りの販売店にご連絡ください。

そのまま使用を続けると、火災や感電の原因になります。

- 発煙、異音、発熱、異臭などの異常を発見したとき
- 機器の内部に水などが入ってしまったとき
- 異物が機器の中に入ってしまったとき






火災注意　感電注意


禁止

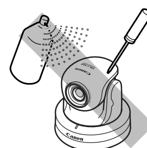

分解禁止

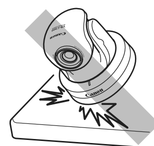

プラグをコンセントから抜く

ご使用の際は次のことをお守りください。

守られない場合、火災や感電の原因になります。

- 機器の近くで可燃性のスプレーを使用しないでください。
- 分解、改造はしないでください。
- 衝撃を与えないでください。
- 水をかけたり、濡らしたりしないでください。
- 天候不安定・落雷時には感電の原因になりますので、本機やLANケーブル、外部電源、ACアダプター（オプション）の電源用コネクターに触れないでください。
- 何らかの理由で機器が破損したとき
  お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。
- 本機を長期間使用しないときは、本機からLAN ケーブルや外部電源、AC アダプター（オプション）の電源用コネクターを抜いてください。





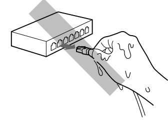


直射日光やハロゲン光などの高輝度の被写体を長時間映すと、映像素子が破損する原因になります。

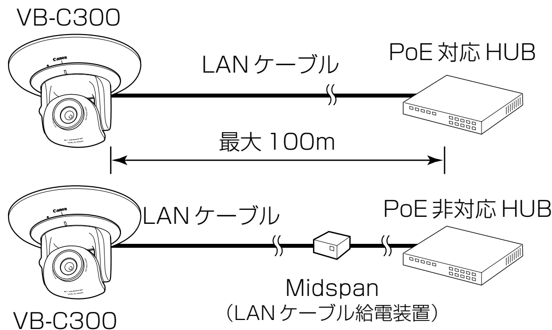
PoE 対応 HUB と組み合わせてご使用いただく場合の注意


注意

- PoE対応HUBやMidspanは、IEEE802.3afに準拠した動作確認済のものをご使用ください。
- 濡れた手でLANケーブルの先端に触れないでください。



- PoE対応HUBとACアダプター（オプション）を同時に接続した場合は、PoE対応HUBからの電源供給で本機は動作します。
- PoE対応HUBによっては、ポートごとに使用電流を制限できるものがありますが、制限をかけると正しく動作しない場合があります。この場合は、制限をかけないでご使用ください。
- PoE対応HUBによっては、各ポートの合計消費電流の制限がある場合があり、複数のポートを使用する場合に正しく動作しない場合があります。ご使用のPoE対応HUBの取扱説明書をご確認ください。
- LANケーブルは、カテゴリー５以上の規格に対応したものをご使用ください（最大100m）。



* Midspan（LANケーブル給電装置）は、PoE対応HUBと同様にLANケーブルを通じて本機に電源を供給する機器です。

AC アダプター（オプション）に関する注意





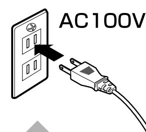


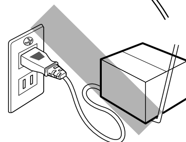


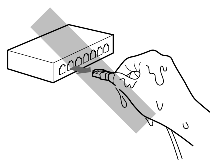
ACアダプター（オプション）について次のことをお守りください。

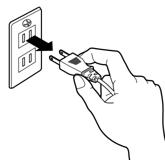
守られない場合、火災や感電の原因になります。

- 必ずオプションの専用 AC アダプターと AC ケーブルを使用してください。
  また、AC アダプター（オプション）は本製品以外には使用しないでください。
- AC100V以外の電源で使用しないでください。
  また、海外では使用しないでください。
- 電源コードに重いものを載せないでください。
- 電源コードを引っ張る、無理に曲げる、傷つける、加工するなどしないでください。
- 濡れた手で触れないでください。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。
  守られない場合、コードが傷つくなどして火災や感電の原因になることがあります。
- AC アダプター（オプション）は、布や布団でおおったり、つつんだりしないでください。
  熱がこもりケースが変形し、火災の原因になります。
  風通しのよい状態でお使いください。









お手入れに関する注意





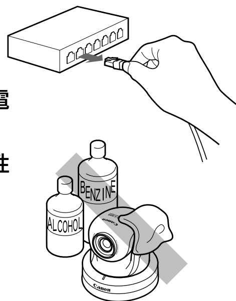




お手入れの際は次のことをお守りください。

守られない場合、火災や感電の原因になります。

- 本機から LAN ケーブルを抜いてください。
- AC アダプター（オプション）や外部電源の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- アルコールやシンナー、ベンジンなどの引火性溶剤は使用しないでください。

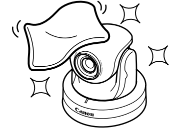


日常のお手入れ

お手入れは、電源を切って行ってください（→ P.2-5）。

■ 外装のお手入れ

1. 柔らかい布を水またはうすい中性洗剤で湿らせ、軽く汚れを拭き取ります
2. 乾いた布で拭きます



■ レンズのお手入れ

市販のレンズクリーナーを使用し、レンズ表面の汚れを落とします

- レンズ表面にほこりや汚れがついていると、オートフォーカスがうまく動作しないことがあります。
- レンズ表面に傷を付けると、画像不良の原因となります。

■ 屋内ドームハウジング(オプション)をご使用の場合のお手入れ

ドームに汚れがつくと画質が悪くなる原因になりますので、定期的なお手入れが必要です。

1. ドームハウジングの設置手順 8. と 9.（→ P.2-22）を参照して、ドームを取り外します
2. 柔らかい布を水またはうすい中性洗剤で湿らせ、軽く汚れを拭き取ります
3. 乾いた布で拭きます
4. ドームハウジングの設置手順 8. と 9.（→ P.2-22）を参照して、ドームを取り付けます



ご使用の前に

本機の特長、動作環境、各部の名称とはたらきについて説明します。



VB-C300の特長

本機は、カメラ機能とサーバー機能をコンパクトに一体化したネットワークカメラです。

■水平画角70°のAF機能付きズームレンズとパン・チルト機能

水平画角70°、光学2.4倍（デジタル4倍）のズームレンズを搭載し、一度に広い範囲を撮影できます。全体を俯瞰した映像のほか、被写体とカメラの設置距離が近い場所でも広い視野角の映像が撮影できます。さらに、AF機能とカメラを左右・上下方向に動かすパン・チルト機能により、設置時や店舗・工場等でのレイアウト変更時の画角調整を容易に行うことができるほか、遠隔地からカメラを操作して状況を把握する際にも便利です。

■動きのある被写体を高画質に撮影

プログレッシブスキャンCCDの採用により、動きのある被写体でも、ノイズを抑えた高画質な映像を撮影することができます。

■ 1ルクスでのカラー撮影とデイナイト自動切り換え機能

デイモードで撮影すると最低被写体照度1ルクス（1/30秒）でのカラー撮影が、ナイトモードで撮影すると内蔵の赤外線カットフィルターが解除され、最低被写体照度0.25ルクス（1/30秒）での白黒撮影ができます。さらに、デイナイトの自動切り換え※（→ 操作ガイドP.1-10）により、昼間の明るい状態でのカラー撮影と夜間の暗い状態での白黒撮影を自動的に切り換え、照度に変化がある場所での映像監視にも対応しています。

※ デイナイトの自動切り換えは、十分な運用確認を行ってください。

■映像配信サーバー機能

映像の圧縮には、Motion-JPEGを採用し、VGA（640×480）で最大30fps※の高画質・高フレームレートを実現しています。本機1台で最大15クライアントが同時に映像を見ることができます。

※ ビューワー用のPCの性能やネットワークの状態によってはフレームレートが低下する場合があります。

■カメラ位置プリセット機能

よく見るカメラアングル（カメラヘッドの向きやズームの位置など）は、あらかじめプリセット登録しておくことで、NCビューワーから見たいプリセットを選択するだけでカメラ制御ができます。プリセットは最大20件まで登録できます（→ 操作ガイドP.2-10）。

■パノラマ画像作成機能と各種設定

カメラの全撮影範囲をパノラマ画像として作成し、登録することができます。さらに登録したパノラマ画像を使って、プリセットを視覚的に分かりやすく設定することができます。

■音声の送受信（全二重）

本機にアンプ付きマイクやアンプ付きスピーカーを接続※すると、NCビューワーを通して音声の送受信（全二重）を行うことができます。

※ マイクやアンプは別途お買い求めください。

■正位置や天吊り設置に対応

設定を変更することにより（→ 操作ガイドP.1-9）、卓上などの据え置き設置（正位置）や天井※への設置（天吊り）に対応します。

※直射日光の当る場所、高温、高湿度の場所などには設置できません（→ P.ix）。

■コンパクトでスタイリッシュなデザイン

建築物やインテリアの一部として、さまざまな環境に設置できるスタイリッシュなデザインに仕上げています。天井への設置には、天井取付用金具やケーブル類の露出を防ぐ、天井取付用カバーを同梱しています（→ P.vi）。

■ PoE 機能

PoE※対応HUBとLANケーブルをつなぐだけで映像・音声のデータ転送と電源供給を同時に可能にするPoE機能を搭載しています（→ P.xi）。PoE対応HUBに接続すれば、本機の電源工事は必要ありません。

※ Power over Ethernet の略。米国電気電子学会により標準化された IEEE 802.3af 規格に準拠。
本機と PoE 対応 HUB を接続する LAN ケーブルは、最大 100m です（→ P.xi）。

■シェード補正機能（NC ビューワー）

背景が明るくて被写体が見にくい場合に、暗い部分のコントラストを変化させて被写体を見やすくすることができます。逆光補正とは異なり、明るい部分の補正を抑えるため背景の白飛びを防ぐことができます（→ 操作ガイドP.3-29）。

■オプションの屋内ドームハウジングにより多彩な設置用途に対応

オプションの屋内ドームハウジング（→P.1-9）を利用できます。カメラの存在をアピールしながら、ホコリなどからカメラを保護する「クリア」と、VB-C300Bと組み合わせてカメラの存在を意識させない「スモーク」の２種類があります。

■オプションの録画ソフトウエアにより複数拠点の映像監視を実現

オプションの録画ソフトウエア「ネットワークビデオレコーダー VK-64/VK-16v1.3」（→P.1-10）を使用することにより、複数拠点にネットワークカメラを配置した映像監視システムを構築することができます。

動作環境

製品に関する最新情報(ファームウェアや同梱ソフトウェア、操作ガイド、動作環境など)は、ホームページをご確認ください。
製品紹介ホームページ： canon.jp/webview

VB 初期設定ツール Ver. 3.0 （→ P.2-7）

本機の初期設定を行うためのツールです。

OS/Web ブラウザー	Windows 2000 Professional（SP4）/Internet Explorer 6.0（SP1） Windows XP（SP1a）/Internet Explorer 6.0（SP1） Windows XP (SP2)/Internet Explorer 6.0(SP2)、7.0 Windows Server 2003 Standard Edition/Internet Explorer 6.0 Windows Server 2003 Standard Edition (SP1)/Internet Explorer 6.0(SP1)、7.0 Windows Server 2003 Standard Edition (SP2)/Internet Explorer 6.0(SP2)、7.0 Windows Server 2003 R2 Standard Edition/Internet Explorer 6.0(SP1)、7.0 Windows Server 2003 R2 Standard Edition (SP2)/Internet Explorer 6.0(SP2)、7.0

NC ビューワー Ver.1.0 （→ 操作ガイド P.3-2）

本機に同梱のビューワーソフトウェアです。本機で撮影した映像を表示し、カメラ制御を行うことができます。

OS/Web ブラウザー	Windows 2000 Professional（SP4）/Internet Explorer 6.0（SP1） Windows XP（SP1a）/Internet Explorer 6.0（SP1） Windows XP (SP2)/Internet Explorer 6.0(SP2)、7.0 Windows Server 2003 Standard Edition/Internet Explorer 6.0 Windows Server 2003 Standard Edition (SP1)/Internet Explorer 6.0(SP1)、7.0 Windows Server 2003 Standard Edition (SP2)/Internet Explorer 6.0(SP2)、7.0 Windows Server 2003 R2 Standard Edition/Internet Explorer 6.0(SP1)、7.0 Windows Server 2003 R2 Standard Edition (SP2)/Internet Explorer 6.0(SP2)、7.0

※本機に同梱のセットアップ CD-ROM から事前にインストールする必要があります（→ P.2-11）。



VB-C50 シリーズと併用する場合は、VB-C50 シリーズ付属の PC 用ビューワーをインストールしてご利用ください。

VB 管理ツール Ver. 3.0 （→ 操作ガイド P.2-2）

本機のパノラマ作成、プリセット設定、ログの閲覧、NC ビューワーの各設定ができます。

OS/Web ブラウザー	Windows 2000 Professional（SP4）/Internet Explorer 6.0（SP1） Windows XP（SP1a）/Internet Explorer 6.0（SP1） Windows XP (SP2)/Internet Explorer 6.0(SP2)、7.0 Windows Server 2003 Standard Edition/Internet Explorer 6.0 Windows Server 2003 Standard Edition (SP1)/Internet Explorer 6.0(SP1)、7.0 Windows Server 2003 Standard Edition (SP2)/Internet Explorer 6.0(SP2)、7.0 Windows Server 2003 R2 Standard Edition/Internet Explorer 6.0(SP1)、7.0 Windows Server 2003 R2 Standard Edition (SP2)/Internet Explorer 6.0(SP2)、7.0

※本機に同梱のセットアップ CD-ROM から事前にインストールする必要があります（→ P.2-11）。



VB-C50 シリーズと併用する場合は、最初に VB-C50 シリーズ付属の VB 管理ツールをインストールしてから VB-C300 付属の VB 管理ツールをインストールしてください。

ビューワー切換ツール Ver.1.0 （→ 操作ガイド P.3-34）

NC ビューワーと VB-C50 シリーズの PC 用ビューワーを切り換えて使うためのツールです。

OS/Web ブラウザー	Windows 2000 Professional（SP4）/Internet Explorer 6.0（SP1） Windows XP（SP1a）/Internet Explorer 6.0（SP1） Windows XP (SP2)/Internet Explorer 6.0(SP2)、7.0 Windows Server 2003 Standard Edition/Internet Explorer 6.0 Windows Server 2003 Standard Edition (SP1)/Internet Explorer 6.0(SP1)、7.0 Windows Server 2003 Standard Edition (SP2)/Internet Explorer 6.0(SP2)、7.0 Windows Server 2003 R2 Standard Edition/Internet Explorer 6.0(SP1)、7.0 Windows Server 2003 R2 Standard Edition (SP2)/Internet Explorer 6.0(SP2)、7.0

※本機に同梱のセットアップ CD-ROM から事前にインストールする必要があります（→ P.2-11）。



Windows XP SP2 でご使用いただく場合の注意事項

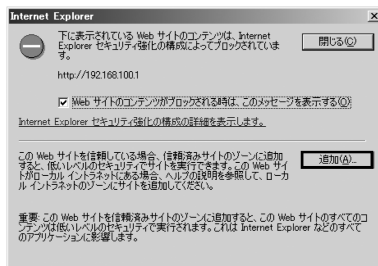
Windows XP SP2 の PC から［VB 初期設定ツール］を起動すると、［Windows セキュリティの重要な警告］ダイアログが表示されることがあります。
［Windows セキュリティの重要な警告］ダイアログが表示された場合は、［ブロックを解除する］ボタンをクリックしてください。
一度この設定を行うと、以降この警告ダイアログは表示されなくなります。



Windows Server 2003でご使用いただく場合の注意事項

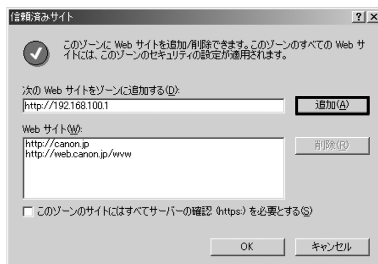
Windows Server 2003では、Internet Explorerにおけるインターネットサイトとイントラネットサイトのセキュリティレベルが初期設定で「高」に設定されています。
そのため、カメラのトップページ(→P.2-10)にアクセスした際にコンテンツブロックのダイアログが表示され、サイトの登録を行わない場合には、設定画面などにおいて正常に動作しません。正常に動作させるためにサイトの登録を行ってください。

1. Internet Explorerでカメラのトップページにアクセスすると、右記のダイアログが表示されます



2. [追加]ボタンをクリックすると、信頼済みサイトの追加のダイアログが表示されます

「このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする」にチェックがついている場合は外してください。



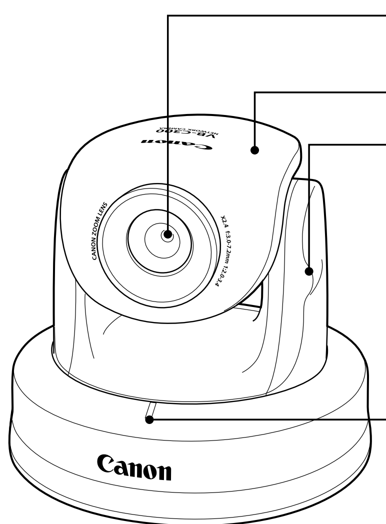
3.「次のWebサイトをゾーンに追加する」に本機のIPアドレスを入力し、[追加]ボタンをクリックして信頼済みサイトへ登録します

信頼済みサイトへの登録の詳細は、1.のダイアログで「Internet Explorerセキュリティ強化の構成の詳細を表示します」をクリックし、表示される概要を参照してください。

また、[Windows ファイアウォール]機能を有効に設定してある場合は、「Windows XP SP2でご使用いただく場合の注意事項(→P.1-5)」と同様の設定を行ってください。

各部の名称とはたらき

正面



レンズ
水平画角70°、AF機能付きズームレンズ

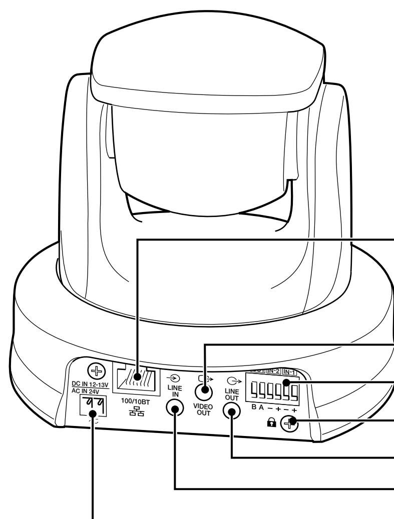
カメラヘッド

ヘッドアーム

LED
ブルーのLED が点灯します。
- 点　滅　－　電源投入時、再起動時、ネットワーク未接続時
- 常時点灯－　通常使用状態
- 消　灯　－　LED 非表示選択時（→ 操作ガイドP.1-19）

※LED非表示が選択されていても、電源投入時、再起動時は数秒間点滅してから消灯します。

背面



100/10BT LAN コネクター（100Base-TX/10Base-T 自動切換え）PoE 給電対応（IEEE802.3af 準拠）

ビデオ出力端子（メンテナンス用）

外部デバイス入出力端子（→ P.3-4）

落下防止用ワイヤー取付け部

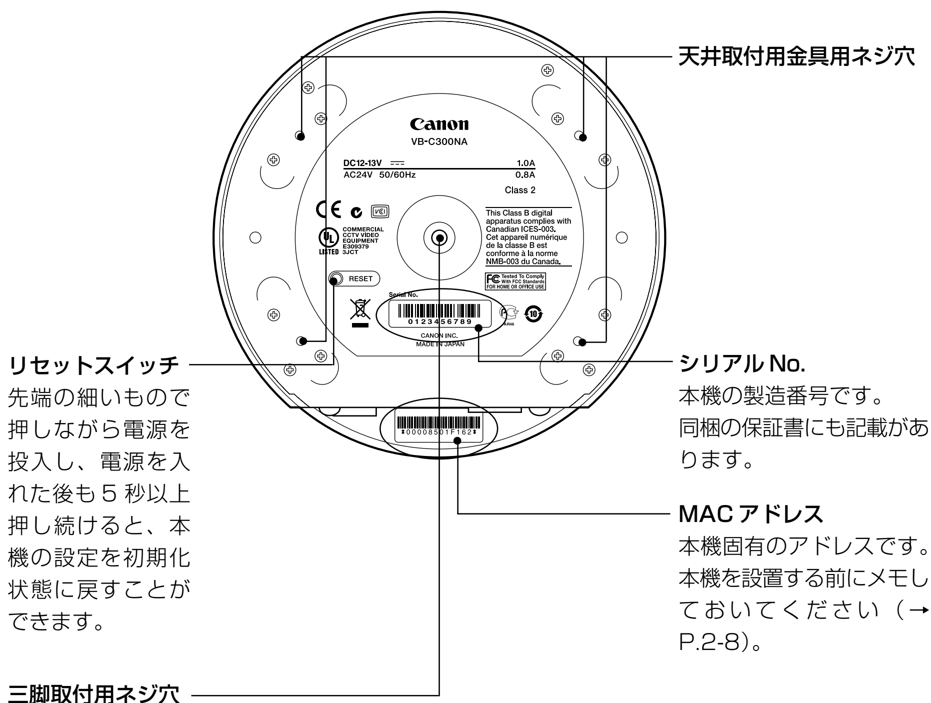
音声出力端子（LINE OUT）

音声入力端子（LINE IN）

電源接続端子（→ P.2-6）

底面

本機の底面には、ネットワーク設定に必要なMACアドレスや初期化のためのリセットスイッチ、シリアル No. があります。

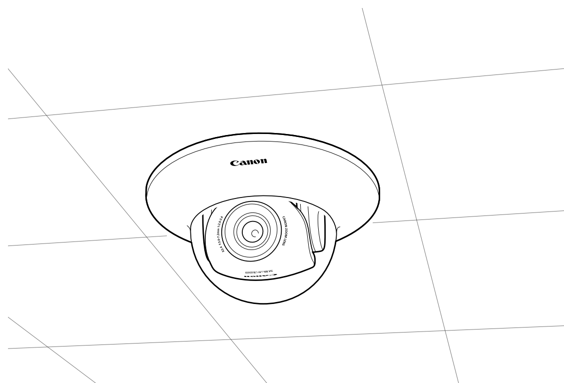


オプションについて

屋内ドームハウジング（VB-RD41S-C/S）（オプション）について

屋内ドームハウジング（VB-RD41S-C/S）はVB-C300専用の屋内用のドームハウジングです。ドームの色はクリア（VB-RD41S-C）とスモーク（VB-RD41S-S）が用意されています。天井に埋め込み、すっきりした外観で設置できます。
なお、屋内ドームハウジング（VB-RD41S-C/S）はオプション製品となっていますので、別途お買い求めください。

使用例

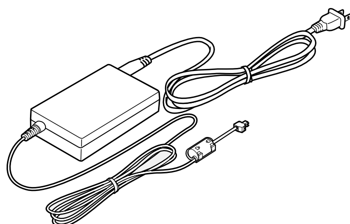


スモーク（VB-RD41S-S）について

- 透過率は約50%です。
- 最低被写体照度は、デイモードで2lux（1/30秒、カラー）ナイトモードで0.5lux（1/30秒、白黒）になります（→ P.3-3）。

AC アダプター（PA-V17）（オプション）について

VB-C300 専用の AC アダプターです。PoE 対応 HUB を使用しない場合にお使いください。
同梱されていませんので、必要な場合は別途お買い求めください。



ネットワークビデオレコーダーVK-64/VK-16 V1.3（オプション）について

ネットワークカメラから配信される映像の表示と録画を行うためのソフトウェアです。
VB-C300はV1.3で対応しています。複数のネットワークカメラを運用する場合に便利です。

VK-64/VK-16のビューワー画面例




お願い

VB-C300はVK-64/VK-16の旧バージョンではご使用になれません。旧バージョンをご使用の場合はアップグレードしてください。詳細は、ホームページをご確認ください。
製品紹介ホームページ：canon.jp/webview



カメラの設置をしましょう

カメラの設置方法を説明します。
まず、カメラをネットワークに接続して、カメラの初期設定を行います。
次にソフトをインストールし、NC ビューワーで映像を確認します。
最後にカメラを設置します。

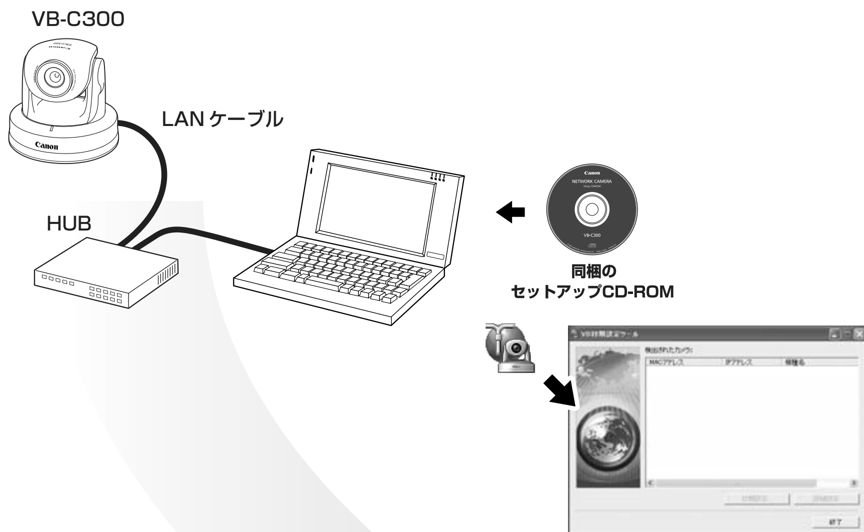
カメラの設置をする前に必ずIPアドレスの設定を行ってください。

セットアップの流れ

セットアップしてカメラの映像を確認するための流れは、以下のようになります。まず、本機をHUBを通じてネットワークに接続してから、初期設定を行います。続いて、ビューワーなどをインストール後、カメラからの映像を表示できるか確認します。最後に本機を設置し、再起動します。

1 カメラをネットワークに接続し、初期設定をしましょう

HUBを通じて、カメラとPCを接続します（→ P.2-4）。
PoE対応HUBやMidspanをご使用の場合は担当営業にご確認をお願いします。
本機をネットワークに接続する場合、シールド付LANケーブル（カテゴリー５以上）をご使用ください。
同梱のセットアップCD-ROMをPCに入れ、カメラの初期設定を行います（→ P.2-7）。



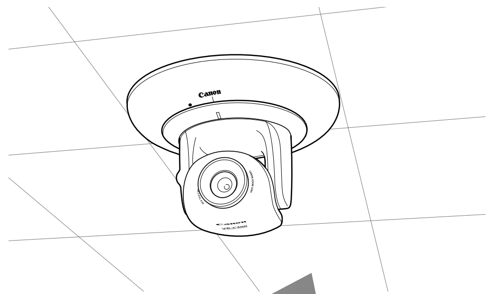
2 ソフトをインストールし、カメラの映像を確認しましょう

必要なソフトウェアをインストールします（→ P.2-11）。



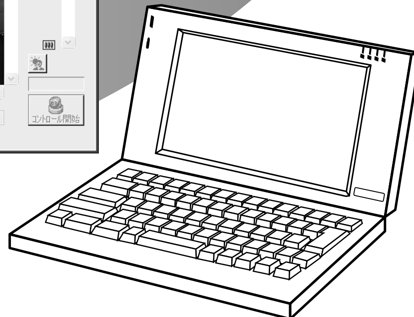
3 カメラを設置しましょう

本機を設置します。
確実に設置を行ってください（→ P.2-14）。



次にNCビューワーを使ってカメラの映像を確認します（→ P.2-12）。

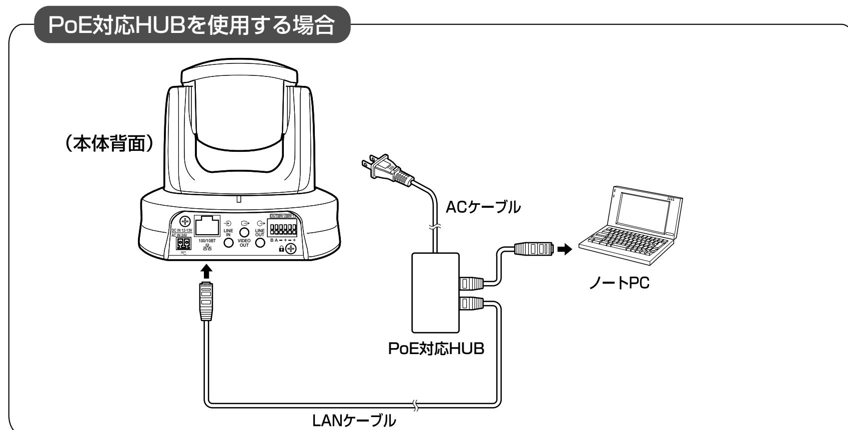




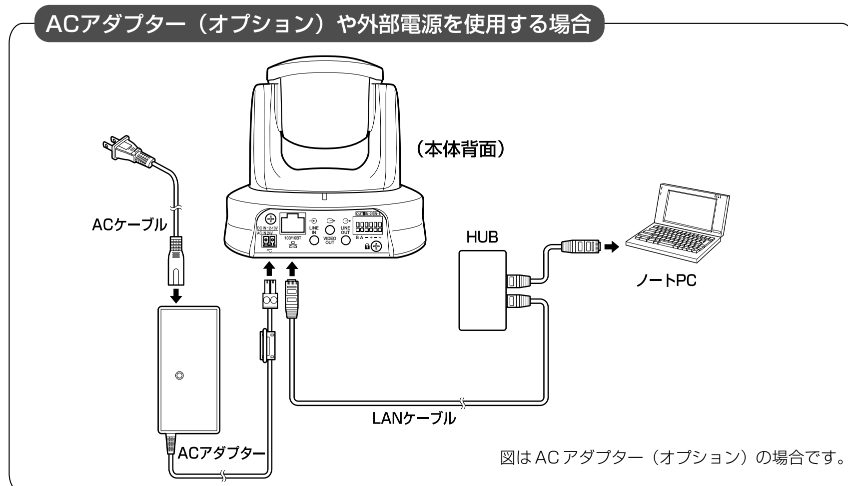
カメラをネットワークに接続し、電源を入れます

まず、カメラを接続してみましょう。ここでは、HUBを通じてカメラとPCをLANケーブルでつなぎ、カメラをネットワークに接続し、電源を入れます。ただし、本機の電源を入れて20分が経過すると、VB初期設定ツール（→P.2-7）で検知することができません。その場合は電源を入れなおしてください。

VB-C300は、PoE（Power over Ethernet）機能を搭載しています。IEEE 802.3afに準拠したPoE対応HUBから、LANケーブルを通じて電源を本機に供給できます。



ACアダプター（オプション）や外部電源をご使用の場合、下記のように接続してください。



図はACアダプター（オプション）の場合です。

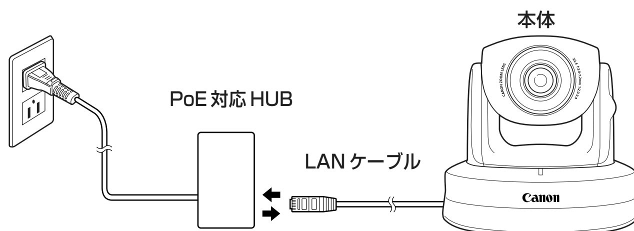


- PoE 対応 HUB や Midspan は、担当営業にご確認をお願いします。
- PoE 対応 HUB や Midspan の使用方法などについては、その機器の取扱説明書などをご覧ください。
- 本機と PoE 対応 HUB を接続する LAN ケーブルは最大 100m です。
- 本機をネットワークに接続する場合、シールド付LANケーブル（カテゴリー5以上）をご使用ください。
- 本機をスイッチングHUBに接続している場合、動作中に接続を変更するとHUBの学習機能によって通信ができなくなることがあります。動作中の接続変更は行なわないでください。

■電源の「入」/「切」について

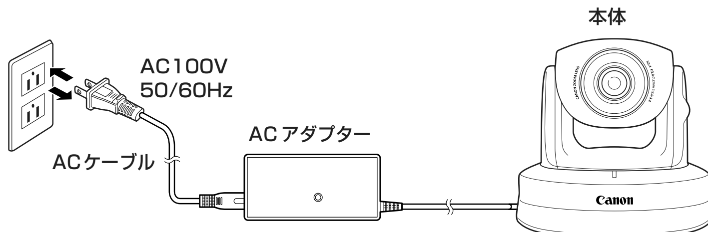
本機には電源スイッチがありません。
VB-C300 で、PoE 機能を利用して LAN ケーブルを通じて電源を供給している場合は、電源の入った HUB に LAN ケーブルを抜き差しすることで、電源の「入」/「切」を行います。

PoE対応HUBを使用する場合



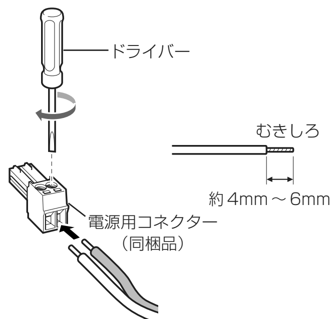
AC アダプター（オプション）や外部電源をご使用の場合、AC アダプター（オプション）や外部電源の電源プラグを抜き差しすることで、電源の「入」/「切」を行います。

ACアダプター（オプション）や外部電源を使用する場合



図は AC アダプター（オプション）の場合です。

■外部電源の利用について



同梱の電源用コネクター（→ P.vi）を、右記のように接続してください。
DC12V または AC24V は、AC100V に対して絶縁された電源を使用してください。
DC12V は、無極性で接続できます。
電源は以下の電圧範囲内でご利用ください。

AC24V の場合 ： 電圧変動 AC24V ± 10%以内
　　カメラ 1 台当り電流供給能力 1.0A 以上
DC12V の場合 ： 電圧変動 DC12V ± 10%以内
　　カメラ 1 台当り電流供給能力 1.5A 以上

※ DC12V のバッテリー電源でご使用の場合は、必ず電源ラインへ直列に 0.5 ～ 1.0 Ω／ 20W 以上の抵抗器を接続してご利用ください。

VB-C300 の推奨電源ケーブル【参考】

ケーブル（AWG） 導体径（φ mm）	#24 （0.52mm）	#22 （0.65mm）	#20 （0.82mm）	#18 （1.03mm）	#16 （1.30mm）
DC12V 最大ケーブル長（m）	5	9	14	23	32
AC24V 最大ケーブル長（m）	11	18	29	46	64
DC12VまたはAC24Vの配線にはULケーブル（UL-1015相当品）を使用してください。					


お願い

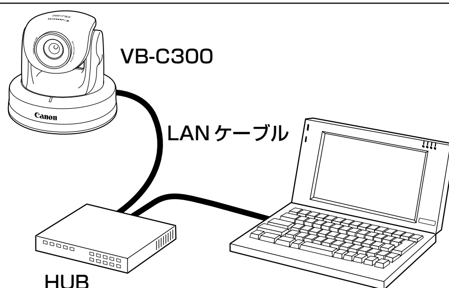
- 電源を入れると、カメラヘッドポジションが自動的に初期化されます。
- **初期化動作中は絶対にカメラヘッドに触らないでください。**正しく初期化されなかったり、故障の原因になります。
- 電源を切った後、再度電源を入れる場合は、5秒以上の間隔をあけてください。間隔が短いと動作不良の原因となります。また、電源を抜き差しする場合は、「⚠安全にお使いいただくために · PoE 対応 HUB の使用上の注意」（→ P.xi）、「⚠安全にお使いいただくために·ACアダプター（オプション）に関する注意」（→P.xii）を必ずお守りください。
- **PoE 対応 HUB の電源「入」/「切」については、その機器の取扱説明書などをご覧ください。**
- PoE 対応 HUB からの給電状態で、本機に AC アダプター（オプション）を接続することもできます。この場合、PoE給電が行われている状態ではPoE給電が優先され、AC アダプター（オプション）からの給電は使用しません。PoE 給電が切断されると、自動的にAC アダプター（オプション）からの給電が行われます。

以上でネットワーク接続は完了です

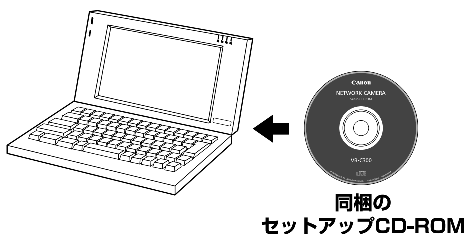
カメラの初期設定をしましょう

ここでは、本機一台を PC に接続した場合を例にして説明します。

設置例



1. 同梱のセットアップ CD-ROM を PC に挿入し、エクスプローラーなどから VB 初期設定ツール「VBSetup.exe」をダブルクリックして起動します





次ページへ続く ➡

2. VB 初期設定ツールが自動的にネットワーク接続された本機を検出し、本機の MAC アドレス、IP アドレス、機種名を表示します

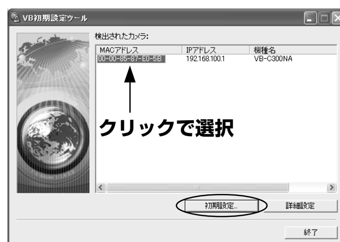
出荷時設定では

IP アドレス：192.168.100.1

に設定されています。MAC アドレスは本体底面のシールに記載されています。

なお、VB 初期設定ツール（VBSetup.exe）はサブネットを越えて利用できません。

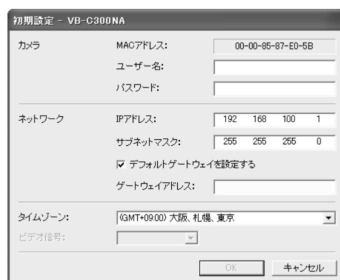
MACアドレスをクリックして選択状態にし、[初期設定］ボタンをクリックします。



3. ユーザー名「root」と出荷時設定のパスワード「VB-C300」を入力し、設定する IP アドレスとサブネットマスクを入力します

デフォルトゲートウェイを設定しない場合は［デフォルトゲートウェイを設定する］のチェックを外します。

設定したら［OK］ボタンをクリックします。





Windows XP SP2 でご使用いただく場合は「Windows XP SP2 でご使用いただく場合の注意事項」(→P.1-5) をご覧ください。また、Windows Server 2003 Standard Edition (SP1)で[Windows ファイアウォール]機能を有効に設定してある場合も同様です。

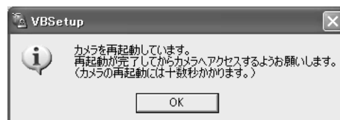


- 出荷時のパスワードは、「VB-C300」です。セキュリティ上、必ず変更してください（→ 操作ガイド P.1-6)。
- 本機の MAC アドレスは本体底面に記されています（→ P.1-8)。
- 工場出荷時には、**192.168.100.1** の IP アドレスが設定されています。お使いの環境に合わせて IP アドレスを設定してください。

4. 設定の進行状況がウィンドウで表示され、設定が行われます



5.「OK」ボタンをクリックします




お願い

- IP アドレスは、お客様の環境に合わせた値を設定してください。
- DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得した場合、VB初期設定ツールから設定変更は行えません。設定ページから行ってください(→ 操作ガイドP.1-7)。
- 設定するIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスはネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 本機の電源を入れて20分が経過すると、本機はIPアドレスの割り当て要求を出さなくなり、VB初期設定ツールで検知することができません。その場合は本機の電源を入れなおしてください。
- 工場出荷設定に戻したいときは、操作ガイド「工場出荷設定に戻す」を参照してください(→ 操作ガイドP.4-8)。

以上で初期設定は完了です

カメラの接続を確認しましょう

初期設定が終了したら、本機が正常に検知されているかを確認してください。

1. **動作確認を行うカメラのMACアドレスをクリックして選択し、[詳細設定]ボタンをクリックします**



2. **Webブラウザーが起動し、カメラのトップページが表示されます**

   トップページが表示されれば、本機は正常に検知されています。





Windows Server 2003でご使用いただく場合は「Windows Server 2003でご使用いただく場合の注意事項」(→P.1-6)をご覧ください。



- 許可ユーザーを登録すると、トップページにアクセスした時にユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。
- 「各種設定」をクリックするとカメラの各種設定を行うことができます(→ 操作ガイドP.1-2)。

以上で接続確認作業は完了です

必要なソフトをインストールしましょう

カメラを管理したり、映像を表示するためのソフトをインストールします。ソフトは以下の３種類です。

VB-C300 に付属のソフトについて

種　類	概　要
VB 管理ツール	カメラの管理をするためのツールです（→ 操作ガイド 2章）。管理者以外の方はインストールする必要はありません。
NC ビューワー	VB-C300専用のビューワーです。管理者権限と機能限定の許可ユーザー権限があります（→ 操作ガイド ３章）。
ビューワー切換ツール	NC ビューワーと、VB-C50 シリーズのカメラ映像を表示するPC用ビューワーを切り換えるツールです（→ 操作ガイド ３章）。



VB-C50 シリーズと併用する場合は、以下の通りインストールを行ってください。

- VB-C50 シリーズ付属のVB 管理ツールを先にインストールし、次にVB-C300付属の VB 管理ツールをインストールしてください。
- VB-C50 シリーズ付属の PC 用ビューワーをインストールしてください。

1. 本機に同梱のセットアップ CD-ROM を PC の CD-ROM ドライブに挿入し、以下の手順を行います

① 他の全てのアプリケーションを終了していることを確認して、「スタート」メニュー→「マイコンピュータ」の順にクリックします。
Windows 2000 では、デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリックします。

② 表示された「CD-ROMのアイコン」→「VBToolsフォルダー」→「VBToolsInstall.exe」の順にダブルクリックします。



2. 開始画面が表示されるので、インストール方法を選択し、インストールを行います

おまかせインストール：VB 管理ツールとNC ビューワーのインストールを行います。

カスタムインストール：ソフトを任意に選択し、インストールを行います。



3. インストールが完了すると、デスクトップにアイコンが表示されます



カスタムインストールでVB管理ツールのみの選択はできません（NCビューワーと同時にインストールされます）。

以上でインストールは完了です

カメラの映像を確認しましょう

カメラからの映像を先程インストールしたNCビューワーを使って確認します。
NCビューワーの詳細な使い方は操作ガイドを参照してください。

1. デスクトップ上にあるNCビューワーのアイコンをダブルクリックします



2. NCビューワーが起動し、NCビューワーが表示されます



3. カメラと接続するために、「ファイル」メニューから「接続」を選択します



4. 接続先を選択するダイアログが表示されます



ホスト名に初期設定で指定したIP アドレス、ユーザー名に「root」、パスワードに「VB-C300」を入力して「OK」をクリックすると、カメラに接続します。

※「root」は管理者権限です。


お願い

- 同じパソコンを管理者と許可ユーザーが共有してNCビューワーを使用する場合には、この［パスワードを保存する］のチェックを入れないことを強くおすすめします。
- 管理者権限のパスワードは、セキュリティ上必ず変更してください（→ 操作ガイド P.1-6）。

5. カメラに接続され、映像が表示されます



6. 映像が表示されたら、カメラとの接続確認は終了です

以上で映像確認作業は完了です

カメラの設置をしましょう

■設置する前に

必ず IP アドレスの設定（→ P.2-7）を行ってから、カメラを設置してください。


お願い

- 本機の電源を入れて20分が経過すると、本機はIPアドレスの割り当て要求を出さなくなり、VB初期設定ツールで検知することができなくなります。カメラを設置する前に「カメラの初期設定をしましょう」（→ P.2-7）を参照して、IP アドレスの設定および動作確認を行ってください。
- 本機の設置角度は水平に対して± 20 度です。
- 本機の底面には本機固有のMACアドレスが記されています（→ P.1-8）。設置する前に、MAC アドレスをメモしておくことをおすすめいたします。
- カメラを持って作業する場合は、カメラヘッドではなくヘッドアーム部を持って作業してください。
- 直射日光の当る場所、高温、高湿度の場所などには設置できません（→ P.ix）。

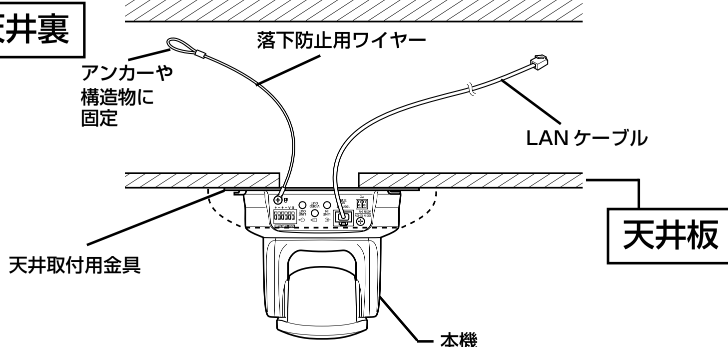
天井に取り付ける場合

カメラを天井に取り付けるには、下記の手順に沿って取り付けます。設置は確実に行ってください。

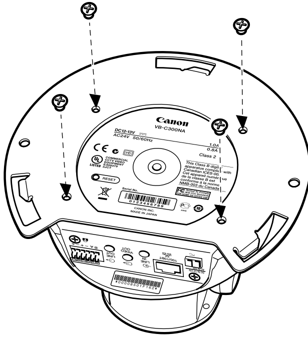


設置は確実に行ってください

- **天井に設置する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。**
- 天井への設置は、本体と天井取付用金具を含む重量に充分耐えられる強度があることをお確かめください。充分な強度がないと、落下して大けがの原因となります。
- 1 年に 1 回は、必ず取付け部がゆるんでいないか点検してください。
- ケーブル類の配線時に、屋内配線や配管などを傷つけないようにしてください。

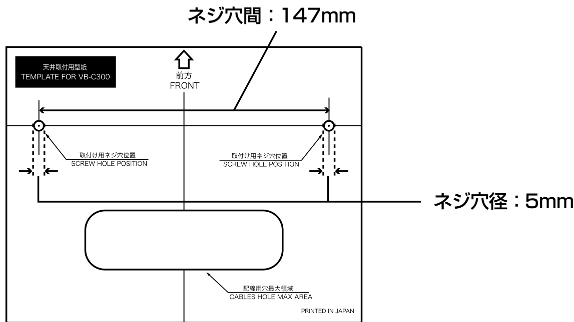


1. 天井取付用金具とカメラを同梱の 4 本のネジで取り付けます



2. 同梱の型紙を使って、カメラの設置位置を決めます

カメラの方向を考えて、取付けネジ穴位置と配線用穴の位置を決め、鉛筆などで印をつけます。



3. 天井にドリルなどで取付け用ネジ穴位置（2 箇所）と配線用穴を開けます


お願い

ACアダプター（オプション）をご使用の場合、配線用穴はケーブルのフェライトコアが通る大きさにしてください。

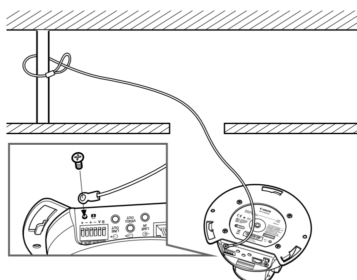
次ページへ続く ➡

4. 落下防止用ワイヤーをとめます

落下防止用ワイヤーをアンカーや構造物に固定します。
天井側に付けた後に、カメラ側にも落下防止用ワイヤーを本機付属のネジでとめます。

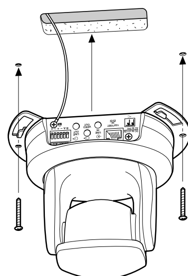

お願い

コンクリート天井など配線用穴を開けられない場合は、適切な場所に固定してください。



5. カメラを天井に固定します

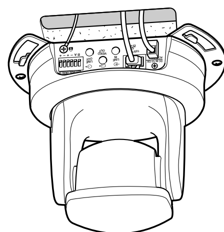
天井取付用金具を天井取り付けネジ穴に合わせて、ネジ２本で天井に固定します。



6. 配線用穴から通したLANケーブルをカメラに接続します

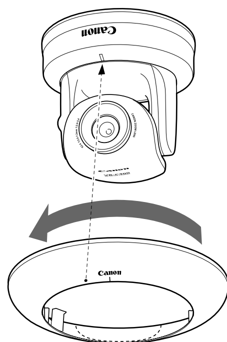
ACアダプター（オプション）や外部電源をご使用の場合、電源用コネクターとカメラを接続します

必要に応じて外部デバイス入出力端子や音声入出力端子にケーブル類を接続します(→ P.3-4)。



7. 天井取付用カバーを取り付けます

天井取付用カバー上にある目印（○）をカメラのLEDの場所に合わせて、反時計回りに目印（I）の位置まで回転して取り付けます。

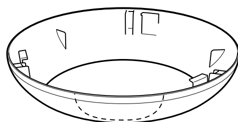



お願い

天井取付用カバーが確実にとまっているか、確認してください。


メモ

● コンクリート天井などでケーブルが天井裏に収まらない場合や、ケーブルが天井取付用カバーに入りきらない場合は、天井取付用カバーの切り欠き部分をニッパーなどで折って、ケーブルを通す切り欠きを作ってください。この場合は天井取付用カバーを取付後ケーブルを接続してください。



8. 設置が完了したら、カメラ位置の初期化のため、本機を再起動してください（→ 操作ガイド P.1-20）。

以上で取付は完了です

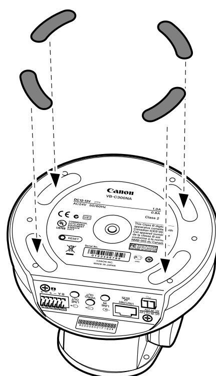
正位置で設置する場合



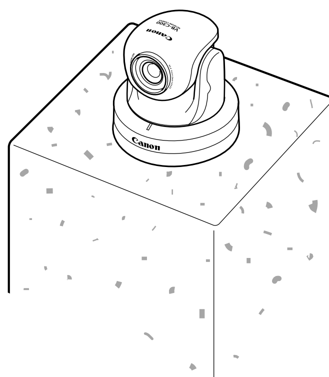
- 設置前に「設置する前に」（→P.2-14）の注意事項をよくお読みになり、必ずお守りください。
- 本機は、天井取り付けを前提に映像位置を設定しています。映像の正逆を反転する場合は、操作ガイドの「映像のサイズや品質、カメラの制御を設定する（映像とカメラ）」を参照してください（→ 操作ガイドP.1-8）。

■平地に設置する

ゴム足を取り付けます。



平らで安定したところに置いてご使用ください。

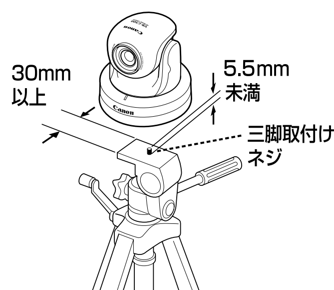


■三脚を使う

三脚取付け用のネジ穴は、本体底面の中央にあります。



- **取付けネジを強く締め付けないでください。**
  ネジを強く締め付けすぎると、カメラヘッドが動かなくなるなどの故障の原因になります。
- 三脚は、必ず取付けネジの長さが5.5mm未満のものを使用してください。5.5mm以上のものを使用すると、本体が破損することがあります。また、三脚の台座は直径30mm以上のものを使用してください。



屋内ドームハウジング(VB-RD41S-C/S)(オプション)で天井に取り付ける場合

屋内ドームハウジングでカメラを天井に取り付けるには、下記の手順に沿って取り付けます。屋内ドームハウジングの外観図（→ P.3-2）を参照して設置位置・方向などを決めてください。



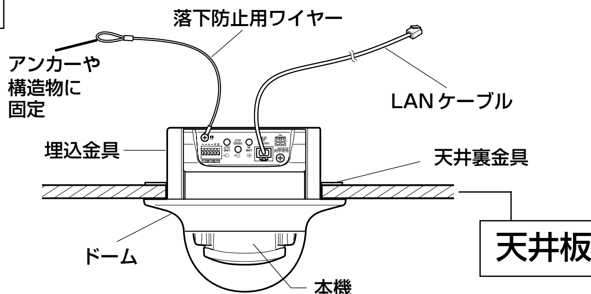
設置前に「設置する前に」（→ P.2-14）の注意事項をよくお読みになり、必ずお守りください。

⚠ 警告

設置は確実に行ってください

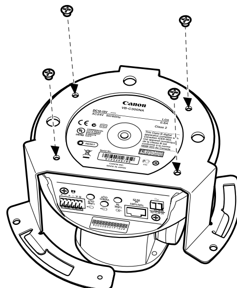
- **天井に設置する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。**
- 天井への設置は、本体と埋込金具、天井裏金具を含む重量に充分耐えられる強度があることをお確かめください。充分な強度がないと、落下して大けがの原因となります。
- 1 年に 1 回は、必ず取付け部がゆるんでいないか点検してください。
- ケーブル類の配線時に、屋内配線や配管などを傷つけないようにしてください。

取付イメージ



1. 埋込金具とカメラを 4 本のネジで取り付けます

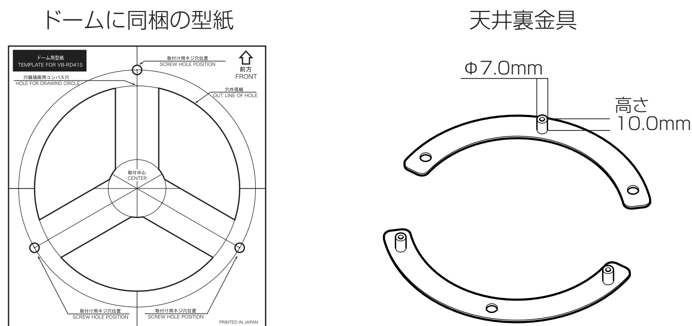
ネジは屋内ドームハウジングに同梱のものをご使用ください。



次ページへ続く ➡

2. カメラの設置位置を決めます

ドームに同梱の型紙を使い、カメラの方向に合わせて、天井裏金具用の穴位置と埋込金具の穴位置を決め、鉛筆などで印を付けます。



3. 天井に天井裏金具用の取付け用の穴位置（3 箇所）と埋込金具の穴を開けます


お願い

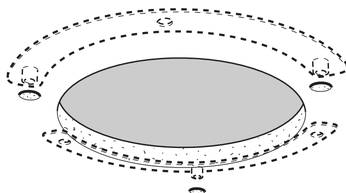
穴を開けたあとは、屋内ドームハウジング取り付け時にドーム内に削りカスなどが入らないようにごみを清掃してください。

4. 天井裏に天井裏金具を付けます


メモ

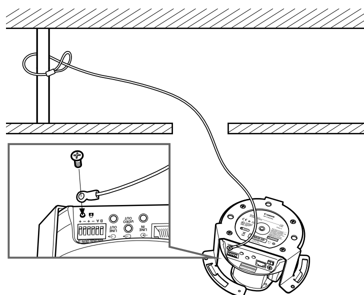
後でドームを固定する時に天井裏金具が浮かないように天井裏金具を両面テープなどで仮どめすることをおすすめします。

天井裏側から天井裏金具についている凸部分を手順 3. であけた穴に差し込みます。



5. 落下防止用ワイヤーをとめます

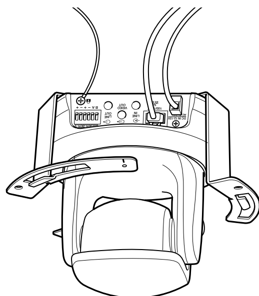
落下防止用ワイヤーをアンカーや構造物にしっかりとめます。
天井側に付けた後に、カメラ側にも落下防止用ワイヤーをカメラ付属のネジでとめます。



6. 配線用穴から通したLANケーブルをカメラに接続します

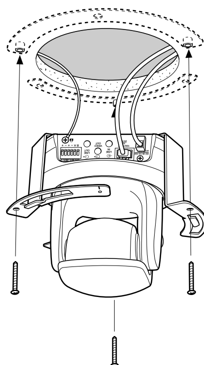
ACアダプター（オプション）や外部電源をご使用の場合、電源用コネクターとカメラを接続します

必要に応じて外部デバイス入出力端子や音声入出力端子にケーブル類を接続します(→ P.3-4)。



7. 埋込金具を天井に取り付けます

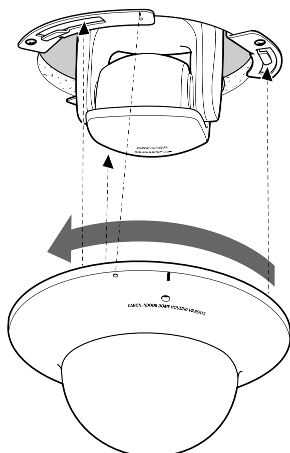
埋込金具にネジを通し、天井裏金具のメス位置に固定します。



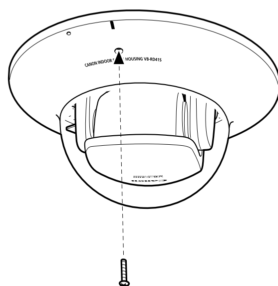
次ページへ続く ➡

8. ドームを取り付けます

ドーム上にある目印（○）を埋込金具の目印（I）の位置に合わせて、反時計回りにドーム上にある目印（I）の位置まで回転し、取付け用ネジ穴を所定の位置に合わせます。



9. ドームの回転防止のために、ネジ（1 本）を取り付けます



10.設置が完了したら、カメラの位置の初期化のため本機を再起動してください（→ 操作ガイド P.1-20）。



LED を点灯していると、ドームに光が反射して映像に映る場合があります。その場合は、LED 設定を［LED を消灯する］に設定してください（→ 操作ガイドP.1-19）。

以上で取付は完了です



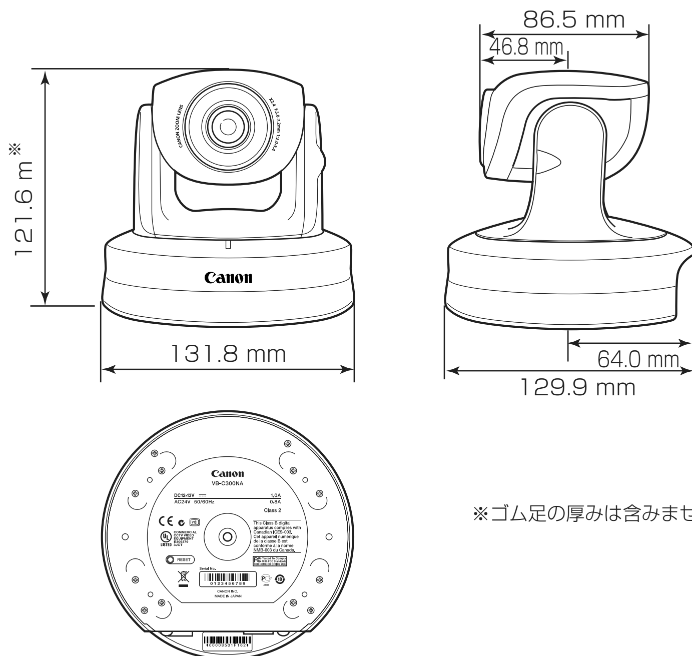
付録

外観寸法、仕様、外部デバイス出力などについて説明します。



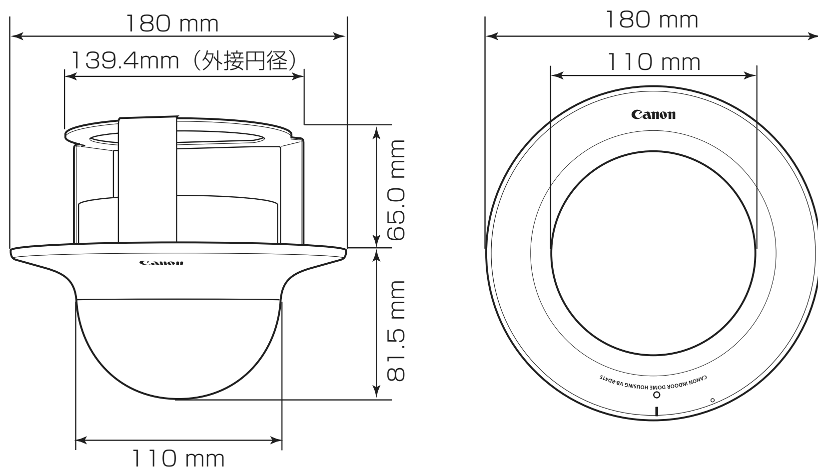
外観寸法図

VB-C300



※ゴム足の厚みは含みません。

屋内ドームハウジング （VB-RD41S-C/S）（オプション）



主な仕様

VB-C300	
映像信号	NTSC 方式準拠
撮像素子	1/4 型 CCD（原色フィルター）
画素数	有効画素数 31 万画素
走査方式	プログレッシブ
最低被写体照度	デイモード：1lux（F2.0、カラー、1/30 秒）/ ナイトモード：0.25lux（F2.0、白黒、1/30 秒） オプションの屋内ドームハウジング VB-RD41S-S（スモーク）使用時は以下の通り デイモード：2lux（F2.0、カラー、1/30 秒）/ ナイトモード：0.5lux（F2.0、白黒、1/30 秒）
撮像モード	デイモード / ナイトモード
フォーカス	デイモード / ナイトモード　　：オート / マニュアル , W/T 端とも　0.3m ～ ∞ ナイトモード（赤外照明併用時）：オート / マニュアル , W/T 端とも　0.6m ～ ∞
絞り	オートアイリスサーボ方式
レンズ	f=3.0 ～ 7.2mm　F 2.0 ～ 3.4 電動 2.4 倍ズーム（無限遠撮影時）
画角	水平画角 =70.8°（W）～ 29.6°（t）　垂直画角 =51.6°（W）～ 22.1°（t）※歪曲含む
パン角度範囲	340°（± 170°）
チルト角度範囲	正位置 =115°（-25°～ 90°）　天吊り =115°（-90°～ 25°）
駆動速度	パン = 最大 90°/ 秒　チルト = 最大 70°/ 秒
赤外線カットフィルター	電動出し入れ（デイモード / ナイトモード）
ホワイトバランス	TTL 方式　オート　マニュアルプリセット　ワンショット
プロトコル	HTTP、DHCP、WV-HTTP（キヤノン独自）
映像圧縮方式	Motion-JPEG 圧縮（動画利用時）／ JPEG（静止画利用時）
映像圧縮レート	NTSC：0.1fps ～ 30fps
音声圧縮方式	G.711 μ-law （64kbps）、全二重
出力映像サイズ	160 × 120、320 × 240、640 × 480
カメラ制御	パン、チルト、ズーム、逆光補正、シャッタースピード、フォーカスモード、ホワイトバランス
接続制限	アクセス制限（パスワード）、同時接続数（最大 15）
本体インターフェース	ネットワーク：　LAN × 1（RJ45、100Base-TX/10Base-T 自動切換え） Audio IN/OUT：　φ 3.5 モノラルミニジャックコネクター IN：LINE 出力付きアンプマイクと接続 × 1 OUT：アンプ付きスピーカーと接続 × 1 VIDEO OUT：　φ 3.5 モノラルミニジャックコネクター ネットワークカメラ本体のビデオコンポジット信号出力（メンテナンス用）× 1 外部デバイス入出力：入力× 2、出力× 1
寸法	約 121.6mm（H）× 131.8mm（W）× 129.9mm（D） （本体のみ：ゴム足、天井取付用金具除く）
質量	約 780g　* 天吊り設置時：約 975g（天井取付用金具、天井取付用カバー含む）
動作環境	温度 -10 ～ 45℃、湿度 20 ～ 85%RH（結露不可）
電源	LAN コネクターによる PoE 給電対応（IEEE802.3af 準拠） AC24V/DC12V 対応（同梱電源用コネクター使用 ※無極性） AC100V ～ AC240V 用　専用 AC アダプター（PA-V17）
型費電力	最大：約 10W（PoE 使用時）最大：約 13W（AC アダプター使用時）

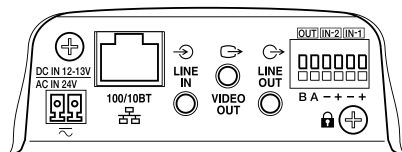
AC アダプター（オプション）	
型式	PA-V17
入力	AC100-240V　50/60Hz
出力	DC13V 1.8A（MAX）、温度　-10℃～ 35℃　湿度 20 ～ 85%RH（結露不可） ネットワークカメラ本体と組み合わせて使用する場合 DC13V 1.0A（MAX）、温度　-10℃～ 45℃　湿度 20 ～ 85%RH（結露不可）
極性	黒線側（-）　白線側（+）
寸法	58mm（W）× 118mm（D）× 25mm（H）（突起物は含まず）
質量	約 215g（ケーブル含まず）

屋内ドームハウジング（オプション）	
型式	VB-RD41S-C/S
タイプ	クリアタイプ / スモークタイプ
本体組合せ時の使用環境	温度 -10 ～ 45℃、湿度 20 ～ 85%RH（結露不可）
寸法	φ 180mm（φ 110mm：ドーム部）× 81.5mm（H）※天井埋め込み部含む場合：146.5mm（H）
質量	約 372g（VB-C300 本体を除く）

●仕様は改善などの理由で予告なく変更することがあります。

入出力端子について

本機の背面には、外部デバイス入出力端子、音声入出力端子、ビデオ出力端子（メンテナンス用）、ネットワーク端子（100/10BT）があります。



※NC ビューワーで、外部デバイス入力の確認と外部デバイス出力の操作ができます。

外部デバイス入出力端子

外部デバイスには入力が２系統、出力が１系統あります。

■外部デバイス入力端子（IN1、IN2）

外部デバイス入力端子は２端子の組２つ（IN1、IN2）で構成され、−端子は本体内部のGNDに接続されています。+端子と−端子に２線のケーブルを接続し、両端子間を電気的に 導通状態または絶縁状態にすることにより、NC ビューワーに対して割り込みを発生させます。



接続するセンサーやスイッチは、それぞれの電源やGNDと電気的に分離された端子を接続するようにしてください。

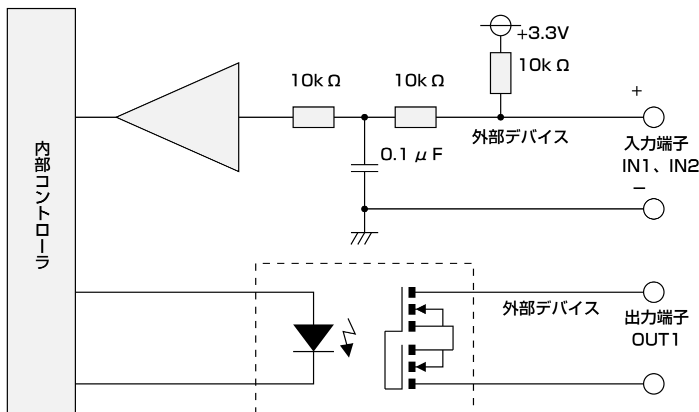
■外部デバイス出力端子（OUT）

外部デバイス出力端子は２端子の組１つ（OUT）で構成されています。それぞれの組に+、−の区別はありません。NCビューワーの制御により、2端子間を導通状態と絶縁状態に切り換えることができます。出力端子は光結合素子を用い、本体の内部回路とは分離されています。

出力端子に接続する負荷は次の定格の範囲内で使用してください。

出力端子間の定格：DC 最大電圧 50V
連続負荷電流 100mA 以下

■内部接続図





外部デバイス用ケーブルの適応電線
AWG　No 28～22
導体径　φ 0.32～0.65（mm）

音声入出力端子

本機にアンプ付きマイクやアンプ付きスピーカーを接続すると、NCビューワーを通じて、音声の送受信を行うことができます。φ 3.5 のモノラルミニジャックコネクターを使用します。

■音声入力端子（LINE IN）

本機とアンプ付きマイクと接続します。NC ビューワーへ音声を送信できます。

■音声出力端子（LINE OUT）

本機とアンプ付きスピーカーと接続します。NC ビューワーから音声をスピーカーへ送信できます。管理者のみ使用できます。

ビデオ出力端子（メンテナンス用）

本機にビデオ端子を接続すると、モニターにカメラ映像を映すことができます。ビデオ端子からはインターレースのアナログビデオ信号が出力されます。設置時の位置決めなどに利用できます。φ 3.5 のモノラルミニジャックコネクターを使用します。

■ビデオ出力端子（VIDEO OUT）

モニターを接続します。
ネットワークカメラ本体のビデオ出力です。



ビデオ出力は、設置時やサービス対応時にモニターで確認するための出力端子です。



お問い合せ先

製品に関するお問い合せは、お客様相談センターをご利用ください。

キヤノンお客様相談センター

ネットワークカメラ／モニタリング機器

050-555-90074

【受付時間】

<平　日> 9:00～12:00／13:00～17:00
(土・日・祝日及び年末年始弊社休業日は休ませていただきます)

※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9622 をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

補修用性能部品について

保守サービスのために必要な保守用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後7年間です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です）

キヤノン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011　東京都港区港南2-16-6　CANON S TOWER

PUB.YT1-5022-003